



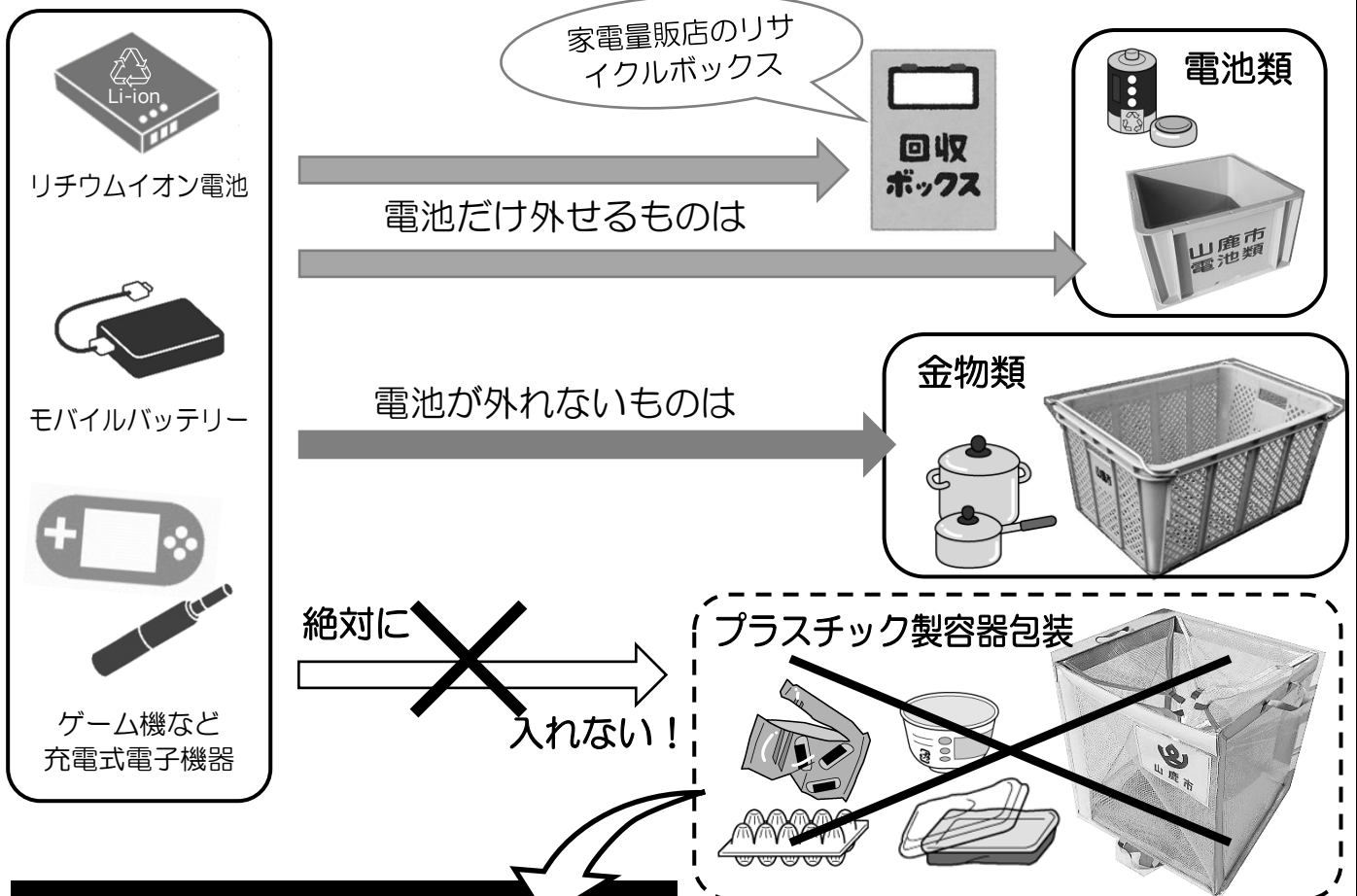
やまが環境便

令和5年
10月1日発行
山鹿市環境課
☎43-7211

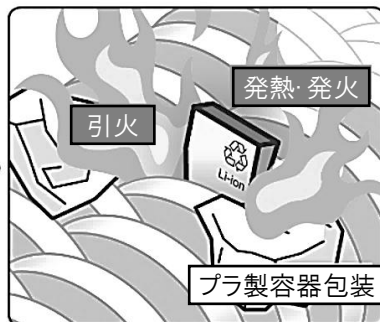
◎プラスチック製容器包装に リチウムイオン電池を混ぜないで！

電子タバコやモバイルバッテリー、携帯型ゲーム機など、リチウムイオン電池を含む充電式電子機器がプラスチック製容器包装に混入し、リサイクル工場で発煙・発火するトラブルが全国で増加しています。

リチウムイオン電池は内部に燃えやすい液体が入っており、特に発火リスクが高い電池です。処分する際は、家電量販店の回収ボックスを利用、または資源ごみの「電池類」「金物類」にお出してください。



もし、混入してしまうと・・・



リサイクル過程で、ショート・発火し、周囲のプラスチックに引火して、大きな火災につながるおそれがあります！

◎“4R”推進月間

環境省では10月を3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進月間と定めていますが、山鹿市では「リフューズ」を加えた4Rを推進しています。



Refuse(リフューズ)

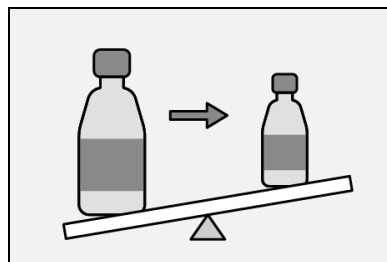
⇒“ごみ”になるものを「断る」

- ・弁当購入時の割箸など、不要なものは断る。
- ・マイバッグを持ち歩き、レジ袋を断る。

Reduce(リデュース)

⇒消費する資源や“ごみ”を「減らす」

- ・詰替え商品や簡易包装の商品を選ぶ。
- ・賞味期限が近いものから買う「てまえどり」。



Reuse(リユース)

⇒使えるものは“ごみ”にせず「再利用」

- ・リサイクルショップなどを活用する。
- ・使用頻度が少ないものはレンタルを活用。

Recycle(リサイクル)

⇒新しいモノに生まれ変わらせる「再資源化」

- ・資源ごみを分別収集に出す。
- ・リサイクル製品を積極的に利用する。



◎プラスチックも“4R”で排出抑制！

プラスチックは軽量で加工しやすく便利な一方、自然界で分解されにくく、海洋汚染など世界的な課題となっています。

- ✓コンビニなどのプラスチックスプーン・フォークを断る（リフューズ）。
- ✓食品はふた付き容器で保管してラップの使用量を減らす（リデュース）。
- ✓ペットボトルの習慣をやめて、マイボトルを持ち歩く（リユース）。
- ✓プラスチック製容器包装を分別して出す（リサイクル）。